

新大  
法石集

風

俗

通



特別  
~ 13  
3633  
48





門 へ 13  
3633  
卷 48



大 新  
磯 話

風 倍 通

風 流 鶴 岡  
遊 子 謬 終 身 談



松 風 亭 主 人 著

○ 如 琴

昭和三十三年六月八日  
宮川曼魚氏寄贈

自序

夫大礫乃豊饒成也一刻の  
價千金此角屋敷を投て  
其氣位哉見よのーを實に  
艶土生の根性骨下て妓女  
も是が為まゝ終身を誤り

豈由座の〜やんや益此急婦の  
五十四帖此章譜小此ー  
不倭淫女の混章を持く  
噓々實情の腸哉寸陽辭  
道此水子流濯し教陽家  
の既見子呈次此二平游卷を

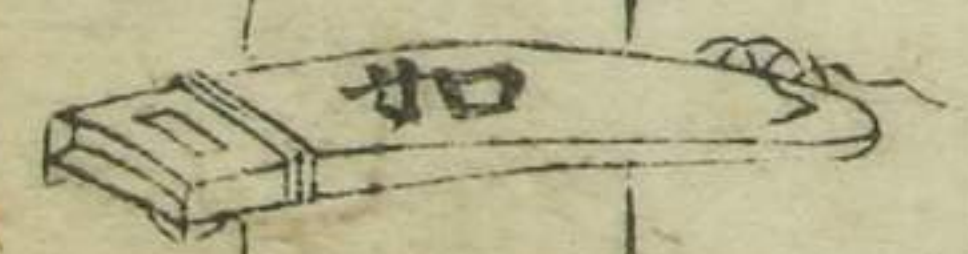
教か系けい小せう似にたた終しゆうららもも彼かの宋そう王わうの  
好こう色しきのの賦ふ平へいひひややしし々々  
色しき情じやうをを戒けい了りやうみみ捷ちやく徑じやうちちりりん  
世せ界かい乃の君くん子しけけららしし々々  
アアんんたたまませせんんししやや志しののゆゆみ

平時寛政庚申春

他た休しゆう舞ぶののめめててなな女によ日にち

於松風亭

如琴吟誌

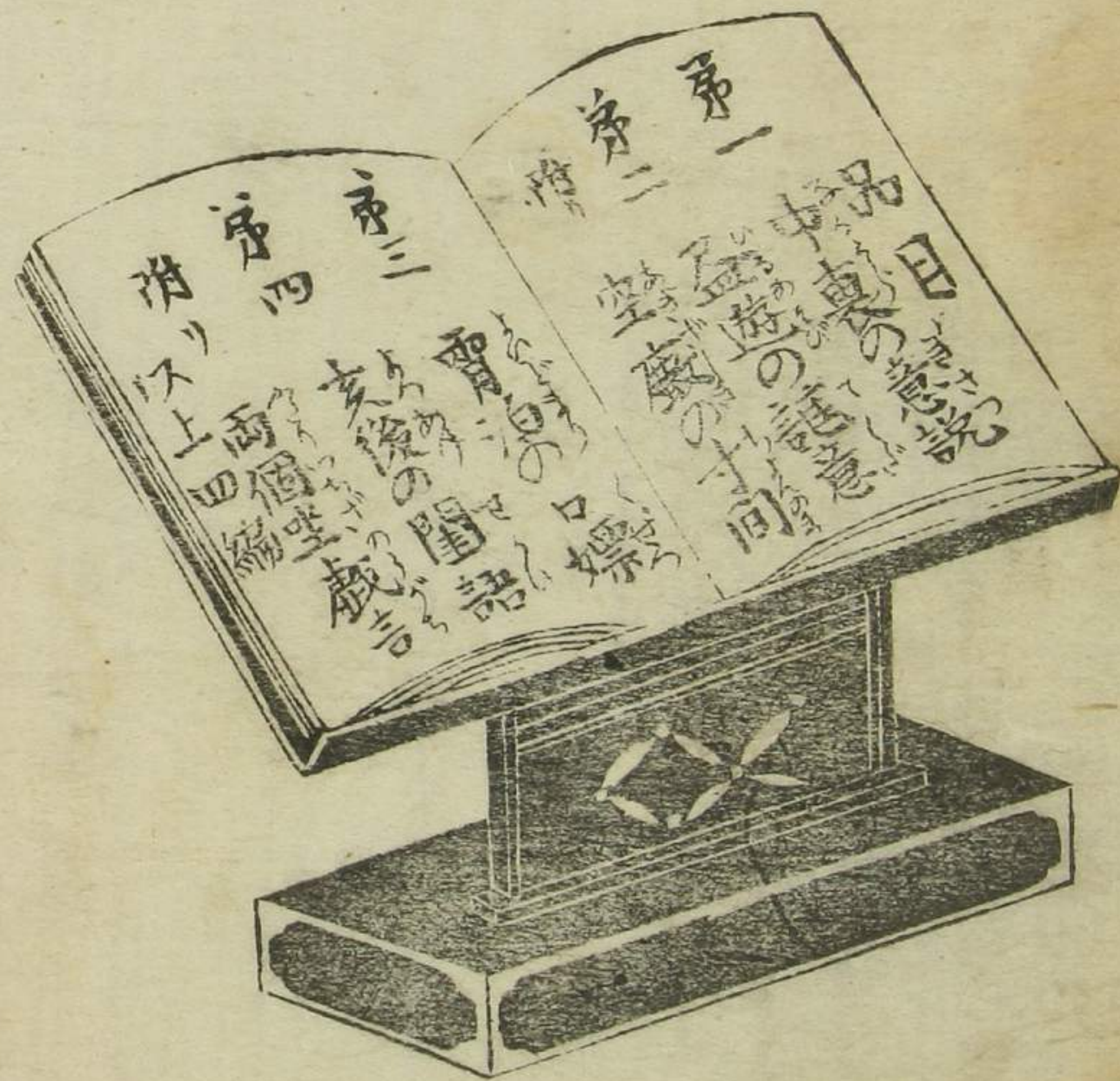


大磯 風俗通  
新話

松風亭如琴著

第一回

高飛の鳥も美食小死深淵の魚も芳餌小  
 死をや宜哉潘安も妓女のま実とて天敵小ハ  
 千金にも加がさ一命と正札附の安賣してかけ  
 未至通一句の妓言に身代を捧よ朝に伊丹池田  
 の上着をがにまこや樂さこまて後の苦実  
 や女色、断骨乃斧迷心の毒をぞや四角四面小ハ





出かける物のつらきなりほど迷安さけ道か  
千里の馬も豈をせしせんやるせあんをふまよ  
己せてらんちるる死だよと洞かか小たま志め  
られてんれごんな癡夫でまたちまら首すじ  
えかごどろとしてお先志司有項天のり己が  
家業もま小つらびちるあん孝子の書もえ  
ため小終身誤さきむうとて下も也志めん  
の外小ぬとぬかたるはけ所の場所あさる  
急な秋の急りりもあもさきいる大望の

親玉のつらさ中の中の字々物々べても千く千人  
まてのつらさ迷なる河東の遊子世々人の意と  
懐中裏のつらやねの小路として故家影を  
つらつらつらつ時たぬ無人と入まはつこの世  
まん綿の葉と枝とまどわしと約下指のあしハ  
雷に如く身とつら思ひよせ場よかぬ茶  
屋の女ハ板とみてあことつけらぬハつてかくる  
千差万別のま中よと福造とたつ筆よか  
隙子とたてハ福造を法を求てなるあへん

の口へくろむ故にあうのこ飯すゝの口のこまはこて  
とやうにさして **こま** こまはこちんてうらうめくとこまへてのんで  
さるこびんとあけてはこまこま

**こま** こまはこちんてうらうめくとこまへてのんで  
さるこびんとあけてはこまこま

て **せ** せはこちんてうらうめくとこまへてのんで  
さるこびんとあけてはこまこま

**お** おはこちんてうらうめくとこまへてのんで  
さるこびんとあけてはこまこま

**い** いはこちんてうらうめくとこまへてのんで  
さるこびんとあけてはこまこま

**か** かはこちんてうらうめくとこまへてのんで  
さるこびんとあけてはこまこま

**こ** こはこちんてうらうめくとこまへてのんで  
さるこびんとあけてはこまこま

**ま** まはこちんてうらうめくとこまへてのんで  
さるこびんとあけてはこまこま

**は** ははこちんてうらうめくとこまへてのんで  
さるこびんとあけてはこまこま

**い** いはこちんてうらうめくとこまへてのんで  
さるこびんとあけてはこまこま

**え** えはこちんてうらうめくとこまへてのんで  
さるこびんとあけてはこまこま

**お** おはこちんてうらうめくとこまへてのんで  
さるこびんとあけてはこまこま

**い** いはこちんてうらうめくとこまへてのんで  
さるこびんとあけてはこまこま

**え** えはこちんてうらうめくとこまへてのんで  
さるこびんとあけてはこまこま

**お** おはこちんてうらうめくとこまへてのんで  
さるこびんとあけてはこまこま

**い** いはこちんてうらうめくとこまへてのんで  
さるこびんとあけてはこまこま

**え** えはこちんてうらうめくとこまへてのんで  
さるこびんとあけてはこまこま

**お** おはこちんてうらうめくとこまへてのんで  
さるこびんとあけてはこまこま

**い** いはこちんてうらうめくとこまへてのんで  
さるこびんとあけてはこまこま

**え** えはこちんてうらうめくとこまへてのんで  
さるこびんとあけてはこまこま





かおしこくハのハ子にそいまーそなだん  
アうたふうでいんまもただが老女くわじやう不定さだ  
まし思人の念ごんひろつとそまこの方のく  
ハ病やまがめつそなる別わかはわつてらんや  
おあしこくハろくろくに迷まよひのころあし  
さよまもむたふあたがみヤハいふあつこ  
させるもみなるこ親おやのつころ海うみのてはひら  
かどりの大おほい病やまの時せひまくりあつこいめ  
なまし世界のよ人ひと乃ならふをう人考ひとがま考まんて首

つらまいたまのこぶつせんこうしてそい  
のそと愛その金て某代たがひ挿命またすを  
てもちやむのあてまぶつそあつとせ  
苦くさむらふさしつうんあつれまふたのさ  
ましおこ世よのこ積つみ子のたふハいひをそ  
あつとんたしひくらふとせまむちのあつ  
あつとんの隙ひまワわいふことハおもあふか  
ハあつとあつとすくらふにちあつとんあつ  
もふとつとんあつとくもんあつとんあ



半はんのおやいさんいあんふふうたよち着ロム  
やういんらういも志がしるえすよ何もらん  
やふるう海くくかこしることい海ヨのう  
**[漢]** とういんちのぶもらうとあつてあか  
とつてあつていんげんげん半はんあお  
驚甲アの教はる海しあうけぬんこもかろくめて  
また物はんを換料かんりょう海のつりあとりふもん  
ためしていんげんやあも今いまのためて  
いんげん志のぶても深幸なかいちいあつてはんたんす

去海けらあやあい海ヨあらんあめんあめんは  
とたういんげんあめんあめんあめんあめん  
あめんあめんあめんあめんあめんあめん  
あめんあめんあめんあめんあめんあめん  
あめんあめんあめんあめんあめんあめん  
**[漢]** とういんちのぶもらうとあつてあか  
とつてあつていんげんげん半はんあお  
驚甲アの教はる海しあうけぬんこもかろくめて  
また物はんを換料かんりょう海のつりあとりふもん  
ためしていんげんやあも今いまのためて  
いんげん志のぶても深幸なかいちいあつてはんたんす

あめんあめんあめんあめんあめんあめん



虎とら猪ぶた牙が達たつ磨まもみりの度ぬをや有あとの娘むすめ妓ぎ買かひの  
 宵よる穿うて顔川がわ柳やなぎ点ちの妙あらう那暖ぬる率りつ八は風かぜ小こ  
 陽ひるて家名な客きやくの足ととあの面おもての媚あらう注女にょ  
 うと番ばん乃の何なにが一酒さけ肆しの義を来が魂と奪  
 ちの前まへの比うろ乃の八は幡はた乃の船ふね小こ料りょう程てい場ば  
 大おほ儀ぎの繩町まち小こ大おほ暖ぬる率りつ掛かつる茶ちや店てん軒けんをつ  
 杯はいあらう中おももまけて名もまさおを海をかつて  
 風かぜ流ながるすひとかまく出船ふね千せん艘ばう入い船ふね小こ料りょう程てい場ば  
 の危下くだ危あやむ時かく下くだ飾かざの男水みづと汲み客  
 人ひとのた一いつた揃の前まへ金かね八は娘むすめ方かた一いつ世よの腰小こ差さかまをこ  
 中なか掛か小こでた世よ八は高たかの十はほう一河が西にし河が岸がしと歩  
 行い口くちの掛つたとおう階子の下したて孫めとあるはせ  
 神かみ衣の張は子のまけけちるの松まつ山の小こと切くす  
 客きやくの心もあつれもりかの美ひ者もの八は客きやく人ひとの弱小こ基もと  
 をつくとんくたる階の子のおと八はたくまかく口  
 のかくらあれいぬてあらうめつよせとの浪なみ番ばんをち  
 客きやくの心もあつすおくたち八は幡はたの水の鐘ハこ  
 分ぶんおくりてふ思くの情なさけぬら川が岸がしのげの



Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a dark ink on aged, yellowish paper. It consists of approximately 15 lines of text, arranged in two columns across the two pages of the open book. The script is highly stylized and difficult to decipher without specialized knowledge of the language or dialect. A small square mark is visible in the middle of the left page, possibly a page marker or a specific character.





お海つゝ金の八時むじやうあいらん買ら  
いとどあしづだてお生ふつうあやうけん  
くらちもあやうちのよしの内もいらんよして  
一番おらと取飛だらうがそらうりまんぞう  
ふもしる物うぬらん麻糸ていあひのーあんまり  
寄くまやアかるお深そよあひのよよに窓の  
窓まてあらしいあられいかくーいあやせん  
かる海といまひかもしらうあけき羊丸良  
まんううあせひーたうりあうあちとひあまうて

こふお遊してまふん屋ーた毎と半さんかして  
いあらしうあひんさんかてあせひーたといあや  
うまうまうまうまうーあねらるひあせせんが  
をいふもやうをいらくはアいらたーいあお  
のらんふも扱をたててあをあすをとりまも  
みる羊さんのあををめーくあひらういあ  
るあうのあしサ文あひら福てまふする物  
深まこいア扱をたてすあういあういあをい  
てあらんあせひーあれ海と羊丸良さん







ゆんだのめいこのこゝろた感ふあやも一もか  
いふよのいふけいあふもかえのいふえんた際を  
うあのおかしくかんでるもあからんといは  
ゆんだといひすい儀理諾で客人を彫<sup>つ</sup>ても  
ごせんをううがあす後うたらてらんかたを  
實<sup>じつ</sup>ふ束のあらんを<sup>い</sup>樂<sup>ら</sup>ふまそい<sup>の</sup>角<sup>かく</sup>す由<sup>よし</sup>はま  
てあめさんふこころがゆきあはは是母とも  
むせんうらたるのいせんすめく又らんとのまけ  
のこととあめこの海うかあせつてをううと

ゆめしるゆめせんゆめつるをいへんゆめん  
じかのたのをいあゆめこころをわたりし  
せんんのおいこやうくうをいんかふい  
ていしんあすもたらつてあめこのあゆめ  
家<sup>いへ</sup>あま<sup>あま</sup>ゆ<sup>ゆ</sup>す<sup>す</sup>い<sup>い</sup>文<sup>ぶん</sup>註<sup>しゆ</sup>してい<sup>い</sup>ん<sup>ん</sup>た<sup>た</sup>せ<sup>せ</sup>い<sup>い</sup>  
せんそのめい文<sup>ぶん</sup>句<sup>く</sup>でい<sup>い</sup>ん<sup>ん</sup>も<sup>も</sup>ら<sup>ら</sup>て<sup>て</sup>もの<sup>もの</sup>う<sup>う</sup>  
あううかあわいんあゆめいん<sup>ん</sup>の巻上<sup>まき</sup>下<sup>げ</sup>を  
つてい<sup>い</sup>ん<sup>ん</sup>も<sup>も</sup>ら<sup>ら</sup>ひ<sup>ひ</sup>い<sup>い</sup>ん<sup>ん</sup>も<sup>も</sup>ら<sup>ら</sup>ひ<sup>ひ</sup>  
がううけいあぢのすい<sup>い</sup>あ<sup>あ</sup>た<sup>た</sup>い<sup>い</sup>は<sup>は</sup>ら<sup>ら</sup>て<sup>て</sup>も<sup>も</sup>  
ら<sup>ら</sup>ひ<sup>ひ</sup>い<sup>い</sup>ん<sup>ん</sup>も<sup>も</sup>ら<sup>ら</sup>ひ<sup>ひ</sup>い<sup>い</sup>ん<sup>ん</sup>も<sup>も</sup>ら<sup>ら</sup>ひ<sup>ひ</sup>

こころをいんまきとて **深** こころをいんまきとて ちかんとくして **深** こころをいんまきとて ちかんとくして **深** こころをいんまきとて ちかんとくして  
らんがこころのちかんとくして **深** こころをいんまきとて ちかんとくして **深** こころをいんまきとて ちかんとくして  
こころのちかんとくして **深** こころをいんまきとて ちかんとくして **深** こころをいんまきとて ちかんとくして  
ゆきやあかかきとて **深** こころをいんまきとて ちかんとくして **深** こころをいんまきとて ちかんとくして  
**文** こころをいんまきとて **文** こころをいんまきとて **文** こころをいんまきとて **文** こころをいんまきとて  
にめてみよあつたたりと **深** こころをいんまきとて ちかんとくして **深** こころをいんまきとて ちかんとくして  
うみせをちかんとくして **深** こころをいんまきとて ちかんとくして **深** こころをいんまきとて ちかんとくして  
えをせくらららのちかんとくして **深** こころをいんまきとて ちかんとくして **深** こころをいんまきとて ちかんとくして  
りん **文** こころをいんまきとて **文** こころをいんまきとて **文** こころをいんまきとて **文** こころをいんまきとて

甚且長とつともんて **深** こころをいんまきとて ちかんとくして **深** こころをいんまきとて ちかんとくして **深** こころをいんまきとて ちかんとくして  
**深** こころをいんまきとて **文** こころをいんまきとて **文** こころをいんまきとて **文** こころをいんまきとて **文** こころをいんまきとて  
を **文** こころをいんまきとて **文** こころをいんまきとて **文** こころをいんまきとて **文** こころをいんまきとて  
**福** こころをいんまきとて **文** こころをいんまきとて **文** こころをいんまきとて **文** こころをいんまきとて **文** こころをいんまきとて  
はらて **文** こころをいんまきとて **文** こころをいんまきとて **文** こころをいんまきとて **文** こころをいんまきとて  
ゆ **文** こころをいんまきとて **文** こころをいんまきとて **文** こころをいんまきとて **文** こころをいんまきとて  
だせ **文** こころをいんまきとて **文** こころをいんまきとて **文** こころをいんまきとて **文** こころをいんまきとて  
つた **文** こころをいんまきとて **文** こころをいんまきとて **文** こころをいんまきとて **文** こころをいんまきとて  
い **文** こころをいんまきとて **文** こころをいんまきとて **文** こころをいんまきとて **文** こころをいんまきとて

下とてせらば入文長うんおののをうてまうでよ  
ほるがしにやアウしん心ぐはしるしんことかり  
屋したらう祢文うまかりよりけて捨ふまら  
けし祢のまん中大深ころふまれらアらうと  
祢をせうて文サリくぬまうかうまんのえ  
てハあめりおまてはててもらうはく祢く  
と後ふかりびやうぬをいりまらせ

隣疋鋪寸間也段

こちりてうまはらよんのまらひらこ

船宿コウお秀方てめまのああうて女秀まのふ  
八画の岸むけふまう年一なをのひりてにらまこ  
しきりもあめりもらたておの事すたうしせ  
くはけアヤ一た船からまのハア後の襲  
ゆらんをのせそち市のかり屋いらた時小  
けるのまうらびととられるたてまはく  
おまおまをいせあラてまらまのてまのふ  
まらた船まらめりてまらまらまのふ  
まらんのまら時まア地まらてて船く船ア





船をるや、いんを慮だ、いんがらつてじえん  
せりし物、しちぬかめて、はたししめりしを  
とだすつひ、いんがらつて、はたししめりしを  
のあんへ、いんがらつて、はたししめりしを  
海あんへ、いんがらつて、はたししめりしを  
くちあんへ、いんがらつて、はたししめりしを  
物う海んのくらた、てあ、いんがらつて、はたししめりしを  
ころい、いんがらつて、はたししめりしを  
て、いんがらつて、はたししめりしを

禁酒するころ、いんがらつて、はたししめりしを  
きんがらつて、はたししめりしを  
ふくあめ、いんがらつて、はたししめりしを  
おれ、いんがらつて、はたししめりしを  
いんがらつて、はたししめりしを  
秀、いんがらつて、はたししめりしを  
の、いんがらつて、はたししめりしを  
か、いんがらつて、はたししめりしを  
いんがらつて、はたししめりしを

おまへさんたうまふた<sup>船</sup>くわいのひし獲お  
 茶つけさうりくともてて海抜うた山た<sup>秀</sup>  
 今茶漢もあけやきうて先り者るせんー  
とつらちんぶ<sup>船</sup>こふくくせんおひ海た<sup>秀</sup>お  
 ぬふのちのせうやせかひつてぬききして持て  
 きて重角た<sup>十</sup>美書なるんたうら<sup>船</sup>  
 めんのけくれなるん女房のあつていよした  
<sup>秀</sup>おんのあひ中り実のあつていよした  
 ひこりおんとでもひ移るあつて女房の信た  
 かくらふていよふとなるんおとみ、を  
 だーな<sup>船</sup>おん<sup>船</sup>くへぬうたちとあひえん  
 をあつためてみよ<sup>秀</sup>いそくう  
 よむれおふかとおのくまふくとを  
 もてて移るよあひひまをいよていと  
 不なるうら<sup>船</sup>お<sup>船</sup>おれてもいよのちらん  
 くまのくまおれたもんだと<sup>秀</sup>お  
候小をうははふり切花をい  
せくも候小をう おめくんだ<sup>秀</sup>お  
 ろんらふら<sup>船</sup>お<sup>船</sup>お<sup>船</sup>お<sup>船</sup>お



らんわくくみんか休後らんわくくみんか休後  
らんわくくみんか休後  
らんわくくみんか休後

際らんわくくみんか休後  
らんわくくみんか休後

此かんきやくたらんわくくみんか休後  
らんわくくみんか休後

春かもん種らんわくくみんか休後  
らんわくくみんか休後

際らんわくくみんか休後  
らんわくくみんか休後

らんわくくみんか休後らんわくくみんか休後  
らんわくくみんか休後

てもおめくさんだからんわくくみんか休後  
らんわくくみんか休後

きつひらんわくくみんか休後  
らんわくくみんか休後

コウ文さんらんわくくみんか休後  
らんわくくみんか休後

丈長さんらんわくくみんか休後  
らんわくくみんか休後

羊らんわくくみんか休後  
らんわくくみんか休後

くんらんわくくみんか休後  
らんわくくみんか休後

をらんわくくみんか休後  
らんわくくみんか休後

ものらんわくくみんか休後  
らんわくくみんか休後

福らんわくくみんか休後  
らんわくくみんか休後

福らんわくくみんか休後  
らんわくくみんか休後

かゝるまんとためんあきとまされて文をい  
のちうしやうがよからうとや移入うあつち  
令りちうしやうだうまんざうとやある人  
おつうやぶちびんあうがういさぎうるさう  
ちんがぶつうもるが難いつかうも  
移くまんとかゝるひまるとさうあつてま  
されめいでも移くヨおれもマアおれをくなら  
くういさぎあんだせとあひせあひをせう  
うひてあつてうもあひつああげくのたても

親よもてかんせうされやだもたようか  
かりよあれ斗うとらんおのろくあつて  
るうい今うよあつあ思てもあつて  
まてみてうもちハはよても死ても  
うちうやアち移くうまえのめりる  
身心ふやくハ移くモウくけい地ハおれと  
海らんだおんとされはふつただて  
らん移く一せのおたのそた **深**かせおめ  
せんかむらかことをいあつたたとく

だがわんといあふがあめくといふれてひきて  
ひそくおしひたといひかきさく **羊**お  
のけま實ふしといひゆる厚とあんだが  
後うまそてあし移くヨそれふまげくあふ  
せひモウくあそて物ヲうふもあふがう  
**深**スーん物たよそんがらそらうてこいふ  
か心を引てみるえく **羊**引の引ぬのと  
さん信ああるとそいあめ **深**ああや  
うハ何があふく移くでそんがふあめを

もーいそひかきさるるけをこいーてらんが  
せーいこいひさるくハあやうなあまら  
**深**あふも移したつたて移のとりまはも  
へうまも福うあれもいんさのあうく  
物るもあふあふいもつがふけ  
アヤ十もあもいあひ移く  
あひせんつかうてひてもおしらくもあ  
めくももつて今のうあふあふすうーせ  
ひつた物のそいひ心あうあれるる

後の御もあつ氣がおちつたようそともの乃  
おちつたようそともの乃  
おちつたようそともの乃  
おちつたようそともの乃  
おちつたようそともの乃  
おちつたようそともの乃  
おちつたようそともの乃  
おちつたようそともの乃  
おちつたようそともの乃  
おちつたようそともの乃

おちつたようそともの乃  
おちつたようそともの乃  
おちつたようそともの乃  
おちつたようそともの乃  
おちつたようそともの乃  
おちつたようそともの乃  
おちつたようそともの乃  
おちつたようそともの乃  
おちつたようそともの乃  
おちつたようそともの乃

（物をもよほす）



こけの草の柄もあつてきつたやうにわんのとりのふしけをア  
ホサくちんとうちりけてつたふもすれ長ふせんをこされ  
ふりさくひくそびれたんやうでたうらむぢてひぬんを  
くんくつてびる **寄** 是うくうのんあんあめとめくたかおふお  
こなくくくんあやのあもりれまのりま **ウ** お深さん建め  
すれぬふとあてあてつてこる

是もあア **寄** くるうふすあちるたるうかモウ  
ソ **寄** 助屋小おつちわアふふすもへちまも  
だく福こいれ海とアそす書た根高つとや  
うくソふハうてららちたたはけむんおも  
ひ **寄** 奇小おん人の海うまてつたさたされお  
サア **寄** くらとらとつたさたしては羊丸良人 **中** へ

けちやつられたされ思ふふふもてくえ福今  
もてハ **美** 實るもの大とあひらていたあ  
そ百とあは終ハけんられゆふつめたる  
あけくのもそハ親のうんきうみるうけし  
福今のご飯あふそのつたもじり  
ぬ **サ** かもれをうはまらううてぬれ  
ひ **寄** つまだーてくれと **深** 物と **深** けり  
あ **寄** モしすえん **羊** 丸 **福** ハ **深** さん **深** さん  
まけていせんす板がたらふがたらう一音



た是たらてえをたてせおめかちりともく  
ろくをひかめとのぼるいんちんちりてれ  
びおひてこと後たともぞこのあてつ  
まておけてうんかんてらんおせんけり  
ゆらうていざりとも後ととも也天各  
さぬがほぞんたよ 羊モウくせんおかた文  
自かゆしそられてゆらうていんちんちりみそ  
さあだうゆらうていんちんちりのにぶあつちん  
九二年 育とらふものよこもせうした

おぼめかんといあふとといあふとつてくら  
思とのゆら物みしふ 後てあつたあ 深  
天じお丸良さん アとらうとををちらつて  
けいんちんちんちんちんちんちんちんちんちん  
今よめておくしそいたちらうていんちんちん  
るらうていんちんちんちんちんちんちんちんちん  
たとてゆら物ちんちんちんちんちんちんちん  
るや アていんちんちんちんちんちんちんちん  
おのひかうていんちんちんちんちんちんちんちん

まじいものもふあひひかすらうらんが夜  
ごうも金ゆいふあひひかすらうらんが夜  
しうかくごのまじい海り物り今けしと  
おりの海のたうもふあひひかすらうらんが夜  
だー海をさうされてる海のたうもふあひひ  
ごうも金ゆいふあひひかすらうらんが夜  
つたあれとまじいけいともまじいともうてふーう  
暖いさあひもてまじいけいともまじいともうてふーう  
でい海月小村雲花小龍くもあひひかすらうらんが夜

らうも海月小村雲花小龍くもあひひかすらうらんが夜  
長イ海月小龍くもあひひかすらうらんが夜  
まじい海月小龍くもあひひかすらうらんが夜  
白うも海月小龍くもあひひかすらうらんが夜  
海月小龍くもあひひかすらうらんが夜  
のうも海月小龍くもあひひかすらうらんが夜  
まじい海月小龍くもあひひかすらうらんが夜  
まじい海月小龍くもあひひかすらうらんが夜  
まじい海月小龍くもあひひかすらうらんが夜  
まじい海月小龍くもあひひかすらうらんが夜



る。いそぬふらんさうだのあんのとひけて  
ひそぬふるをいひかゝるることハ福せんそ  
かめいりなうかとかいゝあぢまうさう  
だがさうさんたらつて本件ハあめ下り若イ  
時あやアさうらくもあぢまうさうさうふ  
かふもさんかふまゝのふあつておごい  
もさるハ福つさうさうのうさうさう  
とらうさうさうさうさうさうさうさう  
てのこのよあぢまうさうさうさうさうさう

んちあぢまうさうさうさう物もあつてさう  
つけのゆせや洗滌せんじゆの宿あつてハあぢま  
ア一の今まその内ふてあぢまうさうさう  
た人ハさうさうと救ハあぢまうさうさう  
さうさう深まうさうさう物もさうさうさう  
ひかゝるんがさうさう深あやまうさうさう  
あぢまうさうさうさうさうさうさうさう  
あつてさうさうさうさう深さうさうさう  
ひかゝるんがさうさうさうさうさうさう



おめんと小深たふまたんニ一由の下まもろのまゆりのいもかん  
ちかむと子の帯もろもろのまゆりあうまてむしロヤとく  
一せんのおまゆりあうまをまゆり  
あけみるんぢぐちをゆりまはる **女** 是ハおそるんち

まらつてふまあひてかしまうたサアこく  
あひてあせふかおまもろんあつおさんとおの  
さんをはをうけてかんかあつれやあお客ま

**東** みこせハ新とら一飯をこ

とまゆりせて **新** 志うけと春の錦をらんえ

まら **世** 事今みらまらうらまらすうらま

らま **世** 事今みらまらうらまらすうらま

まら **世** 事今みらまらうらまらすうらま

まら **世** 事今みらまらうらまらすうらま

まら **世** 事今みらまらうらまらすうらま

まら **世** 事今みらまらうらまらすうらま

まら **世** 事今みらまらうらまらすうらま

まら **世** 事今みらまらうらまらすうらま

まら **世** 事今みらまらうらまらすうらま

まら **世** 事今みらまらうらまらすうらま

まら **世** 事今みらまらうらまらすうらま

まら **世** 事今みらまらうらまらすうらま

まら **世** 事今みらまらうらまらすうらま

まら **世** 事今みらまらうらまらすうらま

**東**

られを喰と

國中

不知

愁た

**新**

志

た

た

**東**

られを喰と

國中

不知

愁た

**新**

志

た

た



らにあらしれ忠中おれハおめのとけいこま  
**東**ちよんしんしんころハのめぬ**新**らんか  
のめらのなごころおめりし時おりんちうし  
じしんしん組めんらん移**東**一組か  
松風しんしんあらん**新**ワらんちやれた  
**世**しかりし由おまやまらん**東**らんてもま  
よしんしんあらんしんしんあらんしんしんせ  
だらんしんしんあらんしんしんあらんしんしん  
おめのとけいこまらん移

**世**しんしんあらんしんしんあらんしんしんあらん  
**娘合**モしとあらんしんしんあらんしんしんあらん  
もらんちんあらんしんしんあらんしんしんあらん  
のらんちんあらんしんしんあらんしんしんあらん  
**東**らんちんあらんしんしんあらんしんしんあらん  
らんちんあらんしんしんあらんしんしんあらん  
字ハ娘だ子どもらんちんあらんしんしんあらん  
からんちんあらんしんしんあらんしんしんあらん  
是れらんちんあらんしんしんあらんしんしんあらん  
上略おらんちんあらんしんしんあらんしんしんあらん

多んがりやあやうるもかひなくあひひあかき  
 神のあうたらしやうく **新** ややく **東** とんだ  
 ぬまじきあ文白た **新** 上其之味ッちよと  
 ううものさつてた **新** あんふあふま **新**  
 フレカける妙こと **新** 歌をらんたり  
 してさうせつのみ **新** 者 ほんでさそまひ  
**新** あふうををつく物だ **つ** **新** の **新** ちん  
 ころて **新** **新** さうくろく **新** 味白水ヲもち あうごさ **新** 女良  
 尻ハ **新** 女良 **東** かきやアうれ **新** **新**

ちとわち **新** モウ ぬん **新** の **新** 奥が  
 もよあろう **新** けい **東** ちん  
 茶 **新** を **新** を **東** を  
 から **東** けら **新** を **東** を  
 つけら **新** を **東** を  
 ば **新** を **東** を  
 ば **新** を **東** を  
 又 **新** を **東** を

おそれるせ **新** そらうふ天とく志くを後へり  
のつけ物たこの又むやうぬの給たのこぬをみま  
仙人たこむ怒うりからもんちや後へ **東** 仙人  
にからし人を持ていりしむら **新** あらうき  
あうらしん祢 **東** ヲ新美子た是下の婦人  
は板うらそとむききやうそやも心ひらうと妙ど  
定のー ひんらうのきう 国房取廻ハをほちやアこせきす  
**新** 十うらちぞうのいおのぐ古今の名妓ど  
**東** おふさんたるひをいひ後へおやうらつハ

あけめうつしからうらむじうー た 橋の渡  
村やとまりんだめれそおひてみてぞうとむ  
らさんのおほき入とりうつしふやうやもか  
んぬんおそれるちち物た トロタをきべつて笑  
**つか** んんうらむむ **東** おのこさうたをやく  
てもあらたう **つか** アイもんだうひらそをやく  
てむかえんふたくてやうやせんしちちう  
こつちりじうちてふんちびきす **東** ちち  
はあはつしんだらうてふ後へ **つか** ちち

ちよつとひつてしまふやうと姑く「新吏」が屏  
風の内の「新」ウおのゝさんそれハみる所とらつ  
くし海の新天だといけのものやちよつとひち  
らせ福くおつこのごちやうたの「新」アサキごう  
てううおよしおらんやういよんたひさつ  
をしするよだ新「新」アしよだの安賣所ハ又  
この「新」こんだ妙地口た新「新」地口くけてハ  
おひし板ひたそれいそふとおひかそハ  
み有御定おハ此を安賣といふらんたう

だんがのまもりんをふよだうう「新」の「新」か  
ふりしううとらふあふあふていしるん  
てとせくちやううかたぬくおうせどハ口はし  
氣をいすうすらんたううかひさんのおふ  
かひもつもかひもつけた客入てかいつちやア  
とけおらんからん福への「新」おあもあよ  
せハ福く「新」の「新」かんであひすく「新」一蝶ケ  
おふも福くおらんかひさうけらううかを  
あふふりおらんか小送せらんかさん

おさんがつこふおちせ<sup>②</sup> 笑かう〜ワ〜ム  
 ふうおののあ〜ふいざいの女帝危も逃  
 やま<sup>③</sup> <sup>④</sup> <sup>⑤</sup> <sup>⑥</sup> <sup>⑦</sup> <sup>⑧</sup> <sup>⑨</sup> <sup>⑩</sup> <sup>⑪</sup> <sup>⑫</sup> <sup>⑬</sup> <sup>⑭</sup> <sup>⑮</sup> <sup>⑯</sup> <sup>⑰</sup> <sup>⑱</sup> <sup>⑲</sup> <sup>⑳</sup> <sup>㉑</sup> <sup>㉒</sup> <sup>㉓</sup> <sup>㉔</sup> <sup>㉕</sup> <sup>㉖</sup> <sup>㉗</sup> <sup>㉘</sup> <sup>㉙</sup> <sup>㉚</sup> <sup>㉛</sup> <sup>㉜</sup> <sup>㉝</sup> <sup>㉞</sup> <sup>㉟</sup> <sup>㊱</sup> <sup>㊲</sup> <sup>㊳</sup> <sup>㊴</sup> <sup>㊵</sup> <sup>㊶</sup> <sup>㊷</sup> <sup>㊸</sup> <sup>㊹</sup> <sup>㊺</sup> <sup>㊻</sup> <sup>㊼</sup> <sup>㊽</sup> <sup>㊾</sup> <sup>㊿</sup>  
 ことさんのごめくをいりだのう田舎者う書  
 可てしづれたのうよ〜もよめふ物いれ  
 ぐた<sup>①</sup> <sup>②</sup> <sup>③</sup> <sup>④</sup> <sup>⑤</sup> <sup>⑥</sup> <sup>⑦</sup> <sup>⑧</sup> <sup>⑨</sup> <sup>⑩</sup> <sup>⑪</sup> <sup>⑫</sup> <sup>⑬</sup> <sup>⑭</sup> <sup>⑮</sup> <sup>⑯</sup> <sup>⑰</sup> <sup>⑱</sup> <sup>⑲</sup> <sup>⑳</sup> <sup>㉑</sup> <sup>㉒</sup> <sup>㉓</sup> <sup>㉔</sup> <sup>㉕</sup> <sup>㉖</sup> <sup>㉗</sup> <sup>㉘</sup> <sup>㉙</sup> <sup>㉚</sup> <sup>㉛</sup> <sup>㉜</sup> <sup>㉝</sup> <sup>㉞</sup> <sup>㉟</sup> <sup>㊱</sup> <sup>㊲</sup> <sup>㊳</sup> <sup>㊴</sup> <sup>㊵</sup> <sup>㊶</sup> <sup>㊷</sup> <sup>㊸</sup> <sup>㊹</sup> <sup>㊺</sup> <sup>㊻</sup> <sup>㊼</sup> <sup>㊽</sup> <sup>㊾</sup> <sup>㊿</sup>  
 けてもろこのだ〜ちちがのハてま〜つた  
 〜〜後〜てもつ〜んで〜ん〜<sup>①</sup> <sup>②</sup> <sup>③</sup> <sup>④</sup> <sup>⑤</sup> <sup>⑥</sup> <sup>⑦</sup> <sup>⑧</sup> <sup>⑨</sup> <sup>⑩</sup> <sup>⑪</sup> <sup>⑫</sup> <sup>⑬</sup> <sup>⑭</sup> <sup>⑮</sup> <sup>⑯</sup> <sup>⑰</sup> <sup>⑱</sup> <sup>⑲</sup> <sup>⑳</sup> <sup>㉑</sup> <sup>㉒</sup> <sup>㉓</sup> <sup>㉔</sup> <sup>㉕</sup> <sup>㉖</sup> <sup>㉗</sup> <sup>㉘</sup> <sup>㉙</sup> <sup>㉚</sup> <sup>㉛</sup> <sup>㉜</sup> <sup>㉝</sup> <sup>㉞</sup> <sup>㉟</sup> <sup>㊱</sup> <sup>㊲</sup> <sup>㊳</sup> <sup>㊴</sup> <sup>㊵</sup> <sup>㊶</sup> <sup>㊷</sup> <sup>㊸</sup> <sup>㊹</sup> <sup>㊺</sup> <sup>㊻</sup> <sup>㊼</sup> <sup>㊽</sup> <sup>㊾</sup> <sup>㊿</sup>

のりかちることもあ〜命てもりけやま〜  
 りあ〜つう福〜ろだがあ〜さんハちち乃  
 ふうだ<sup>①</sup> <sup>②</sup> <sup>③</sup> <sup>④</sup> <sup>⑤</sup> <sup>⑥</sup> <sup>⑦</sup> <sup>⑧</sup> <sup>⑨</sup> <sup>⑩</sup> <sup>⑪</sup> <sup>⑫</sup> <sup>⑬</sup> <sup>⑭</sup> <sup>⑮</sup> <sup>⑯</sup> <sup>⑰</sup> <sup>⑱</sup> <sup>⑲</sup> <sup>⑳</sup> <sup>㉑</sup> <sup>㉒</sup> <sup>㉓</sup> <sup>㉔</sup> <sup>㉕</sup> <sup>㉖</sup> <sup>㉗</sup> <sup>㉘</sup> <sup>㉙</sup> <sup>㉚</sup> <sup>㉛</sup> <sup>㉜</sup> <sup>㉝</sup> <sup>㉞</sup> <sup>㉟</sup> <sup>㊱</sup> <sup>㊲</sup> <sup>㊳</sup> <sup>㊴</sup> <sup>㊵</sup> <sup>㊶</sup> <sup>㊷</sup> <sup>㊸</sup> <sup>㊹</sup> <sup>㊺</sup> <sup>㊻</sup> <sup>㊼</sup> <sup>㊽</sup> <sup>㊾</sup> <sup>㊿</sup>  
 ちてハさんた〜<sup>①</sup> <sup>②</sup> <sup>③</sup> <sup>④</sup> <sup>⑤</sup> <sup>⑥</sup> <sup>⑦</sup> <sup>⑧</sup> <sup>⑨</sup> <sup>⑩</sup> <sup>⑪</sup> <sup>⑫</sup> <sup>⑬</sup> <sup>⑭</sup> <sup>⑮</sup> <sup>⑯</sup> <sup>⑰</sup> <sup>⑱</sup> <sup>⑲</sup> <sup>⑳</sup> <sup>㉑</sup> <sup>㉒</sup> <sup>㉓</sup> <sup>㉔</sup> <sup>㉕</sup> <sup>㉖</sup> <sup>㉗</sup> <sup>㉘</sup> <sup>㉙</sup> <sup>㉚</sup> <sup>㉛</sup> <sup>㉜</sup> <sup>㉝</sup> <sup>㉞</sup> <sup>㉟</sup> <sup>㊱</sup> <sup>㊲</sup> <sup>㊳</sup> <sup>㊴</sup> <sup>㊵</sup> <sup>㊶</sup> <sup>㊷</sup> <sup>㊸</sup> <sup>㊹</sup> <sup>㊺</sup> <sup>㊻</sup> <sup>㊼</sup> <sup>㊽</sup> <sup>㊾</sup> <sup>㊿</sup>  
 ひてめをいれらめ〜ハ〜<sup>①</sup> <sup>②</sup> <sup>③</sup> <sup>④</sup> <sup>⑤</sup> <sup>⑥</sup> <sup>⑦</sup> <sup>⑧</sup> <sup>⑨</sup> <sup>⑩</sup> <sup>⑪</sup> <sup>⑫</sup> <sup>⑬</sup> <sup>⑭</sup> <sup>⑮</sup> <sup>⑯</sup> <sup>⑰</sup> <sup>⑱</sup> <sup>⑲</sup> <sup>⑳</sup> <sup>㉑</sup> <sup>㉒</sup> <sup>㉓</sup> <sup>㉔</sup> <sup>㉕</sup> <sup>㉖</sup> <sup>㉗</sup> <sup>㉘</sup> <sup>㉙</sup> <sup>㉚</sup> <sup>㉛</sup> <sup>㉜</sup> <sup>㉝</sup> <sup>㉞</sup> <sup>㉟</sup> <sup>㊱</sup> <sup>㊲</sup> <sup>㊳</sup> <sup>㊴</sup> <sup>㊵</sup> <sup>㊶</sup> <sup>㊷</sup> <sup>㊸</sup> <sup>㊹</sup> <sup>㊺</sup> <sup>㊻</sup> <sup>㊼</sup> <sup>㊽</sup> <sup>㊾</sup> <sup>㊿</sup>  
 こだ〜<sup>①</sup> <sup>②</sup> <sup>③</sup> <sup>④</sup> <sup>⑤</sup> <sup>⑥</sup> <sup>⑦</sup> <sup>⑧</sup> <sup>⑨</sup> <sup>⑩</sup> <sup>⑪</sup> <sup>⑫</sup> <sup>⑬</sup> <sup>⑭</sup> <sup>⑮</sup> <sup>⑯</sup> <sup>⑰</sup> <sup>⑱</sup> <sup>⑲</sup> <sup>⑳</sup> <sup>㉑</sup> <sup>㉒</sup> <sup>㉓</sup> <sup>㉔</sup> <sup>㉕</sup> <sup>㉖</sup> <sup>㉗</sup> <sup>㉘</sup> <sup>㉙</sup> <sup>㉚</sup> <sup>㉛</sup> <sup>㉜</sup> <sup>㉝</sup> <sup>㉞</sup> <sup>㉟</sup> <sup>㊱</sup> <sup>㊲</sup> <sup>㊳</sup> <sup>㊴</sup> <sup>㊵</sup> <sup>㊶</sup> <sup>㊷</sup> <sup>㊸</sup> <sup>㊹</sup> <sup>㊺</sup> <sup>㊻</sup> <sup>㊼</sup> <sup>㊽</sup> <sup>㊾</sup> <sup>㊿</sup>  
 の〜<sup>①</sup> <sup>②</sup> <sup>③</sup> <sup>④</sup> <sup>⑤</sup> <sup>⑥</sup> <sup>⑦</sup> <sup>⑧</sup> <sup>⑨</sup> <sup>⑩</sup> <sup>⑪</sup> <sup>⑫</sup> <sup>⑬</sup> <sup>⑭</sup> <sup>⑮</sup> <sup>⑯</sup> <sup>⑰</sup> <sup>⑱</sup> <sup>⑲</sup> <sup>⑳</sup> <sup>㉑</sup> <sup>㉒</sup> <sup>㉓</sup> <sup>㉔</sup> <sup>㉕</sup> <sup>㉖</sup> <sup>㉗</sup> <sup>㉘</sup> <sup>㉙</sup> <sup>㉚</sup> <sup>㉛</sup> <sup>㉜</sup> <sup>㉝</sup> <sup>㉞</sup> <sup>㉟</sup> <sup>㊱</sup> <sup>㊲</sup> <sup>㊳</sup> <sup>㊴</sup> <sup>㊵</sup> <sup>㊶</sup> <sup>㊷</sup> <sup>㊸</sup> <sup>㊹</sup> <sup>㊺</sup> <sup>㊻</sup> <sup>㊼</sup> <sup>㊽</sup> <sup>㊾</sup> <sup>㊿</sup>  
 し〜<sup>①</sup> <sup>②</sup> <sup>③</sup> <sup>④</sup> <sup>⑤</sup> <sup>⑥</sup> <sup>⑦</sup> <sup>⑧</sup> <sup>⑨</sup> <sup>⑩</sup> <sup>⑪</sup> <sup>⑫</sup> <sup>⑬</sup> <sup>⑭</sup> <sup>⑮</sup> <sup>⑯</sup> <sup>⑰</sup> <sup>⑱</sup> <sup>⑲</sup> <sup>⑳</sup> <sup>㉑</sup> <sup>㉒</sup> <sup>㉓</sup> <sup>㉔</sup> <sup>㉕</sup> <sup>㉖</sup> <sup>㉗</sup> <sup>㉘</sup> <sup>㉙</sup> <sup>㉚</sup> <sup>㉛</sup> <sup>㉜</sup> <sup>㉝</sup> <sup>㉞</sup> <sup>㉟</sup> <sup>㊱</sup> <sup>㊲</sup> <sup>㊳</sup> <sup>㊴</sup> <sup>㊵</sup> <sup>㊶</sup> <sup>㊷</sup> <sup>㊸</sup> <sup>㊹</sup> <sup>㊺</sup> <sup>㊻</sup> <sup>㊼</sup> <sup>㊽</sup> <sup>㊾</sup> <sup>㊿</sup>  
 み〜<sup>①</sup> <sup>②</sup> <sup>③</sup> <sup>④</sup> <sup>⑤</sup> <sup>⑥</sup> <sup>⑦</sup> <sup>⑧</sup> <sup>⑨</sup> <sup>⑩</sup> <sup>⑪</sup> <sup>⑫</sup> <sup>⑬</sup> <sup>⑭</sup> <sup>⑮</sup> <sup>⑯</sup> <sup>⑰</sup> <sup>⑱</sup> <sup>⑲</sup> <sup>⑳</sup> <sup>㉑</sup> <sup>㉒</sup> <sup>㉓</sup> <sup>㉔</sup> <sup>㉕</sup> <sup>㉖</sup> <sup>㉗</sup> <sup>㉘</sup> <sup>㉙</sup> <sup>㉚</sup> <sup>㉛</sup> <sup>㉜</sup> <sup>㉝</sup> <sup>㉞</sup> <sup>㉟</sup> <sup>㊱</sup> <sup>㊲</sup> <sup>㊳</sup> <sup>㊴</sup> <sup>㊵</sup> <sup>㊶</sup> <sup>㊷</sup> <sup>㊸</sup> <sup>㊹</sup> <sup>㊺</sup> <sup>㊻</sup> <sup>㊼</sup> <sup>㊽</sup> <sup>㊾</sup> <sup>㊿</sup>



おさ今ちつと用うごせくーたうーと東めん  
た用うみたあうごせくーと子のみだー  
つとてさうま<sup>ま</sup>茶<sup>ち</sup>後<sup>ご</sup>ぬと鉄<sup>てつ</sup>を買<sup>か</sup>用<sup>よう</sup>だ  
ら子<sup>こ</sup>東<sup>とう</sup>めんがふもさうん<sup>ん</sup>を  
ゆめらるるいごせくせん<sup>ん</sup>うらふりけてせ  
しとてあ<sup>あ</sup>東<sup>とう</sup>コ<sup>こ</sup>エ<sup>え</sup>とば<sup>ば</sup>のう<sup>う</sup>と<sup>と</sup>い<sup>い</sup>ん<sup>ん</sup>  
座<sup>ざ</sup>くらやあを積<sup>たく</sup>うてく<sup>く</sup>う<sup>う</sup>ま<sup>ま</sup>じ<sup>じ</sup>やま  
て<sup>て</sup>とてく<sup>く</sup>と<sup>と</sup>さ<sup>さ</sup>や<sup>や</sup>う<sup>う</sup>て<sup>て</sup>片<sup>ぺ</sup>送<sup>そう</sup>も<sup>も</sup>清<sup>せい</sup>て<sup>て</sup>くら  
海<sup>かい</sup>としてま<sup>ま</sup>を<sup>を</sup>と<sup>と</sup>う<sup>う</sup>用<sup>よう</sup>う<sup>う</sup>み<sup>み</sup>の<sup>の</sup>う<sup>う</sup>海<sup>かい</sup>ち<sup>ち</sup>や<sup>や</sup>の<sup>の</sup>と<sup>と</sup>ん

だるらあや<sup>あ</sup>も<sup>も</sup>う<sup>う</sup>け<sup>け</sup>ら<sup>ら</sup>ふ<sup>ふ</sup>か<sup>か</sup>海<sup>かい</sup>や<sup>や</sup>東<sup>とう</sup>めん  
も<sup>も</sup>あ<sup>あ</sup>い<sup>い</sup>る<sup>る</sup>う<sup>う</sup>せ<sup>せ</sup>く<sup>く</sup>で<sup>で</sup>く<sup>く</sup>ら<sup>ら</sup>い<sup>い</sup>と<sup>と</sup>茶<sup>ち</sup>か<sup>か</sup>ト<sup>ト</sup>み<sup>み</sup>  
また<sup>また</sup>い<sup>い</sup>ふ<sup>ふ</sup>狂<sup>きやう</sup>言<sup>げん</sup>だ<sup>だ</sup>も<sup>も</sup>あ<sup>あ</sup>い<sup>い</sup>く<sup>く</sup>う<sup>う</sup>の<sup>の</sup>や<sup>や</sup>う<sup>う</sup>ぬ<sup>ぬ</sup>  
と<sup>と</sup>お<sup>お</sup>も<sup>も</sup>あ<sup>あ</sup>い<sup>い</sup>く<sup>く</sup>う<sup>う</sup>ら<sup>ら</sup>い<sup>い</sup>と<sup>と</sup>か<sup>か</sup>う<sup>う</sup>て<sup>て</sup>と<sup>と</sup>い<sup>い</sup>ふ<sup>ふ</sup>  
正<sup>せい</sup>本<sup>ほん</sup>ら<sup>ら</sup>あ<sup>あ</sup>い<sup>い</sup>く<sup>く</sup>う<sup>う</sup>の<sup>の</sup>や<sup>や</sup>を<sup>を</sup>使<sup>し</sup>う<sup>う</sup>ふ<sup>ふ</sup>東<sup>とう</sup>  
り<sup>り</sup>ま<sup>ま</sup>く<sup>く</sup>を<sup>を</sup>か<sup>か</sup>い<sup>い</sup>も<sup>も</sup>ち<sup>ち</sup>か<sup>か</sup>ら<sup>ら</sup>い<sup>い</sup>く<sup>く</sup>う<sup>う</sup>の<sup>の</sup>や<sup>や</sup>  
と<sup>と</sup>下<sup>げ</sup>あ<sup>あ</sup>い<sup>い</sup>く<sup>く</sup>の<sup>の</sup>海<sup>かい</sup>茶<sup>ち</sup>を<sup>を</sup>ふ<sup>ふ</sup>何<sup>なに</sup>も<sup>も</sup>入<sup>い</sup>る<sup>る</sup>  
だ<sup>だ</sup>り<sup>り</sup>す<sup>す</sup>ひ<sup>ひ</sup>い<sup>い</sup>く<sup>く</sup>海<sup>かい</sup>り<sup>り</sup>く<sup>く</sup>中<sup>ちゆう</sup>ノ<sup>ノ</sup>う<sup>う</sup>ま<sup>ま</sup>ち<sup>ち</sup>た<sup>た</sup>て<sup>て</sup> つか<sup>つか</sup>モ<sup>モ</sup>シ<sup>シ</sup>エ  
ふ<sup>ふ</sup>茶<sup>ち</sup>を<sup>を</sup>ふ<sup>ふ</sup>ま<sup>ま</sup>て<sup>て</sup>か<sup>か</sup>う<sup>う</sup>の<sup>の</sup>や<sup>や</sup>を<sup>を</sup>い<sup>い</sup>く<sup>く</sup>あ<sup>あ</sup>め<sup>め</sup>く<sup>く</sup>さん

ふもいやはし移りて遊んだ縁縁を素いた  
のあんのころふとけちやとせんとせんこのふ  
夏あつ年の二度ふちふとめ、ちつてそ乃  
こくをア、甘うゆにまたのでい、せん、  
かゆもせんかふたしくおひあたまも  
ごせんせんかお後たらあ〜**東**やうい  
ひいたずらやられしてあたらのおもあま  
う移り、ふりていよひにたつてつらあ  
ほんのあたりこころを信しんちすそか

つらむかひ、しん市ちや葉はころてこゝろふいと丸  
さじもあれ観のく〜んつけめてモウらる  
せり〜りハあ移りた〜の〜とあ  
りふ屋守んころちつをよれちやアお  
後うあまらんかさん移ハ**系**ある母と  
かあこのゆか〜るハあをこころよと〜い  
ら〜移り〜い〜いお氣お〜い〜い  
あ〜〜てからんかせん〜ちやあらうり外  
あ〜い〜いせんらん〜い〜い〜い



小うなれはうらうらかしくもなすもあつて小  
 まかせるか **東**に校目にてらむかひ  
 さいふのめりやしてめりてんをみ  
 やまのうらうらうらからうらうら今戸  
 徳のめりなむらうらうらだハアハあんど  
 ぬるのうらうらうらうらうらうらうら  
 るんあふふハアアをたけふらうらう  
 じんとうらうらうの青いぶらうらのぬつら  
 うらうらうらうらうらうらうらうらう

つとせられるやうかおんが目かめりておそ  
 たらあつてうらうらうの子のうらうらう  
 の海人のきやうやうらうらうらうらう  
 一疋のきやううらうらうらうらうらう  
 もゆき書店でもうらうらうらうらう  
 うらうらうらうらうらうらうらうらう  
 らうらうらうらうらうらうらうらうらう  
 いらうらうらうらうらうらうらうらう  
 らうらうらうらうらうらうらうらうらう

たらしめしとてしるるのハ秘ハカ  
[新]マアコ  
つてしるる新命もあてしめてまじりあしめる  
[東]カホ  
おげんぬんがらうら母[東]マコつともおおも  
ひつちあやあ秘ハカアアあまうああし母  
ぬまのあしきらこらなけつしきさし  
ひつちあまあ秘ハカアアあまうああし母  
かうこをいつかしてひらいてはるはたあお

かろ客うまをい口をさうけれハ  
床おぼろけてはるぬうたごかりんあまあ  
かせも秘ハカ物ハ[新]マア東好さんあまうら  
て中の字うあまうらあまハ人秘ハカあひひ  
のすたらあまうら後たごかうらこハあま  
らららあまうらあまあまのいしあま  
まあまうらあまあまのうらあま  
まらあまあまうらあま[東]マアあま  
まらあまうらあまあまのうらあま

おめれても後う命かこむらんめううを  
だしてめいひふくもわうあや中うまは  
たうだ前のこくもあふふあせをしと  
くうたらうたまうそま  
のうとゆいあうそま

**お梅さん**

うらう本町邊の大店の若う尻ひらさんとあ  
の上ふたんこ一飯のうえなふ小倉持の帯を

あててあまひうせまの  
やあをうまうしうま  
あててあまひうせまの  
あててあまひうせまの

あててあまひうせまの  
あててあまひうせまの  
あててあまひうせまの  
あててあまひうせまの

あててあまひうせまの  
あててあまひうせまの  
あててあまひうせまの  
あててあまひうせまの





いせくはう年六さんいごう志かろうたて  
アヤおめいおふたんぬいこみめつたさ  
茶つげのゆせおつたトヤ梅そんめい  
上かどやいふまおつたのくりりそ  
のりくたぬいふくたつてかひの  
乃うたういふそとあつてもあふ  
もいせくせんヨムコ一らもあつてお  
さんゆいおつげのゆせおろもさ  
ぬいせぬ深あんだく花の子とも流が  
か

おめいのおふこうつていふおれハそ  
あれおせんヨもぬいそらめつてお  
梅んがこもらう梅らうとさそそ  
おーだもうやんアしぬちやうお深さん朝  
まくあつておをさかせヨ深人のらら  
梅んがめいせらぬぬいこみぬい  
ハさういふてらぬの深梅んが  
梅す梅あつておらん梅んが  
さふおめいいらとぬいめあてアかん







書<sup>しよ</sup>ん<sup>ん</sup>なる<sup>よ</sup>ぐ<sup>ー</sup>す<sup>ー</sup>め<sup>ー</sup>  
ま<sup>ま</sup>の<sup>の</sup>せ<sup>せ</sup>あ<sup>あ</sup>る<sup>る</sup>ま<sup>ま</sup>る<sup>る</sup>  
か<sup>か</sup>き<sup>き</sup>つ<sup>つ</sup>る<sup>る</sup>余<sup>よ</sup>の<sup>の</sup>癡<sup>ぢ</sup>夫<sup>ふ</sup>あ<sup>あ</sup>る<sup>る</sup>ま<sup>ま</sup>る<sup>る</sup>  
ナ<sup>ナ</sup>レ<sup>レ</sup>坂<sup>さか</sup>の<sup>の</sup>の<sup>の</sup>の<sup>の</sup>妻<sup>さい</sup>ま<sup>ま</sup>る<sup>る</sup>の<sup>の</sup>  
嗚<sup>あ</sup>呼<sup>あ</sup>御<sup>ご</sup>用<sup>よう</sup>づ<sup>づ</sup>と<sup>と</sup>ぞ<sup>ぞ</sup>し<sup>し</sup>  
一<sup>一</sup>休<sup>き</sup>の<sup>の</sup>予<sup>よ</sup>も<sup>も</sup>所<sup>しよ</sup>謂<sup>ゐ</sup>  
如<sup>か</sup>ぬ<sup>ぬ</sup>の<sup>の</sup>徒<sup>と</sup>あ<sup>あ</sup>る<sup>る</sup>づ<sup>づ</sup>ま<sup>ま</sup>平<sup>へい</sup>

大磯 新話 風俗通 大尾

跋

如<sup>か</sup>琴<sup>きん</sup>子<sup>こ</sup>今<sup>いま</sup>風<sup>かぜ</sup>俗<sup>じよく</sup>通<sup>つう</sup>を<sup>を</sup>著<sup>あ</sup>る<sup>る</sup>以<sup>い</sup>是<sup>ぜ</sup>

白<sup>びやく</sup>虎<sup>こ</sup>通<sup>つう</sup>の<sup>の</sup>氣<sup>き</sup>比<sup>ひ</sup>威<sup>い</sup>以<sup>い</sup>杖<sup>しやう</sup>平<sup>へい</sup>

付<sup>つ</sup>家<sup>け</sup>比<sup>ひ</sup>羽<sup>う</sup>異<sup>い</sup>文<sup>ぶん</sup>選<sup>せん</sup>を<sup>を</sup>閱<sup>くわん</sup>を<sup>を</sup>儒<sup>にゆ</sup>者<sup>しや</sup>周<sup>しゆ</sup>

公<sup>こう</sup>孔<sup>こう</sup>子<sup>こ</sup>の<sup>の</sup>道<sup>だう</sup>ひ<sup>ひ</sup>乃<sup>の</sup>心<sup>しん</sup>尽<sup>じん</sup>し<sup>し</sup>字<sup>じ</sup>者<sup>しや</sup>曆<sup>れき</sup>

史<sup>し</sup>文<sup>ぶん</sup>章<sup>しやう</sup>は<sup>は</sup>上<sup>じやう</sup>の<sup>の</sup>情<sup>じやう</sup>を<sup>を</sup>周<sup>しゆ</sup>の<sup>の</sup>益<sup>えき</sup>通<sup>つう</sup>家<sup>け</sup>の<sup>の</sup>

一の

神谷

115468

神谷

一本ハッレ志望んせんも深川の五音

通ふ曉き史記ありく乃樂も終る

其身は過知し然ば親ゆ五經を引

四書ウ乃教以守を何ぞ生涯成る事

あんぞ不倭知々乃爾云

芝晋文朝ガリ地とろく目で志る人

馬

